

# JCI JAPAN TOYP エントリーシート



性別	男		
ふりがな	かわぐち ゆうたろう		
氏名	川口 優太郎		
所属企業・団体名	リプロダクティブサポートファーム東京	所属企業・団体役職	代表
活動カテゴリー	<input checked="" type="checkbox"/> ビジネス、経済、起業 <input checked="" type="checkbox"/> 学術 <input type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 倫理、環境 <input type="checkbox"/> 青少年育成、世界平和、人権 <input type="checkbox"/> ボランティア <input type="checkbox"/> 科学技術 <input type="checkbox"/> 自己啓発 <input type="checkbox"/> 政治、法律 <input checked="" type="checkbox"/> 医療革新 <input type="checkbox"/> その他 ( )		
活動エリア及び活動内容	日本全国の企業を対象に、妊活・不妊治療を企業の福利厚生で支援するサービス『WanaB（ワナビー）』を提供しています。このサービスでは、企業向けセミナー、医療従事者によるカウンセリング、人材の採用支援などを実施しています。全国的な少子高齢化が進む中、本年4月から不妊治療の保険適用化が開始するなど支援が加速しており、現役の医療従事者が提供する妊活に特化したヘルスケア事業として、高い評価を得ています。		
質問①	<p><b>Q1. この活動を通してどのような未来を実現したいと思っていますか（ビジョン）</b></p> 厚生労働省によると、現在、妊活や不妊治療をしながら仕事をしている女性の5人に1人以上が仕事との両立に苦しみ、退職や転職を余儀なくされています。経済損失は2083億円と試算されており、環境の整備が強く求められています。本事業の目標は、産休・育休などの既存の福利厚生サービスと同様に、子どもを願うすべての方々が、仕事を継続しながら前向きに妊活に取り組むことが出来る支援を、多くの企業が導入することです。		
質問②	<p><b>Q2. 未来を実現するために今行っている具体的な活動をお答えください（アクション）</b></p> 『WanaB』の具体的な事業内容としては、経営者や人事担当者向けの妊活・不妊治療研修セミナーと企業の体制に合わせた通院休暇制度の設計支援、全社員向けの相談窓口の設置と、医療従事者によるカウンセリング、妊活・不妊治療に理解のある企業としての人材募集等採用支援を実施しています。研修セミナーはすでに15社以上の企業様に提供しており、妊活に関するリテラシーを高めることが少子化対策に繋がると確信しています。		
質問③	<p><b>Q3. あなたの行っている活動は社会にどのような影響を与えていますか（インパクト）</b></p> 妊活・不妊治療と仕事の両立支援に関しては、現在、企業向けの助成金制度など創設され、多くの企業様が積極的に導入することが出来るチャンスが広がっています。また、国連の持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けて様々な取り組みが加速する中で、「すべての人に健康と福祉を」「ジェンダー平等を実現しよう」「働きがいも経済成長も」など、社会的な課題の解決に向けた先進的なサービスとしても高い評価を受けています。		
経歴 自己PR	①ベンチャーカップCHIBA『SDGsビジネス賞』受賞 ②中野区ビジネスプランコンテスト ビジコンなかの『優秀賞』受賞 ③日光市まちづくり大喜利コンテスト『アイデア賞』受賞 ④やさシティ松戸ビジネスプランコンテスト『最優秀賞』受賞 ⑤信州ベンチャーコンテスト『グランプリ』受賞 ⑥荒川区ビジネスプランコンテスト『城北信用金庫賞』受賞 ⑦彦根の未来を創るアイデアコンテスト『みんなでつくるゆりがご賞』受賞		
活動内容写真			